

# 被害場所を見つけやすい管配置について

## 野々市町の情報

- ・人口: 42960人
  - ・面積: 13.56km<sup>2</sup>
  - ・世帯数: 16987世帯
  - ・水道普及率: 95.5%
- 野々市町の水の運ばれ方



## 現在の管配置の問題点

- ・配管の大部分は道路の下に存在していること
- ・地域ごとに配管の大きさが一定ではない。
- ・配管が網の目状になっている。

## 野々市町の現在の主要管配置図



## 解決策の目的

- ・被害場所を見つけやすく、被害が出にくい管配置を提案すること

## 解決策の利点

**管が渦巻状に配置されているので、破損箇所の特定が早い**

## 解決策の特徴

- ・現在の配管は何本もの管がたくさんのもで結合しているのどこで水道管が破損したか発見しにくい。

従来の配管は、水道管が網の目状に配置されているが、この管配置は、同心円状になっており、一本の管によって配水される。

地区の世帯数と、現在の主要管配置を考慮して同心円が配置されている

## 管配置詳細



- ・解決策は破損してしまう可能性があるところでは、管が1本なので、どこが破損したかが分かる。

金沢工業大学  
2008年度 工学部学生

7月のテーマ: 被害場所を見つけやすい管配置について

クラス番号: 1A11

チーム番号: 1

チーム名: 王様のアイデア研究所

チームメンバー名: 中谷 竜、北田 健一、中嶋 真一、谷村 光次、田中 泰次

担当教員名: 浅野 正典